

協働のまちづくり通信簿

問 市民活動推進課 ☎ (93) 1117

市では、「第2次富里市協働のまちづくり推進計画」に基づき、市民・市民活動団体・地縁による団体・事業者と市による、「まちづくり」を進めています。

令和7年度の取組について、市民と有識者で構成された富里市協働のまちづくり推進委員会から意見の取りまとめがありましたので、主な内容をお知らせします。

意見の全文は、市公式ホームページをご覧ください。



総括

それぞれが互いに連携し、まちづくりを進めることができた

協働のまちづくり推進計画は、おおむね計画どおり推進され、市民・市民活動団体・地縁による団体・事業者・市が互いに連携し、まちづくりを進めていると評価できます。時代とともに、地域課題やニーズはますます多様化し、少子高齢化による地域活動の担い手不足が懸念されます。本市の外国人人口は増加しており、成田空港の拡充に伴い、インバウンド需要の増加も予想されます。この状況を契機と捉え、観光分野の活性化をはじめ、全体で協働によるまちづくりを推進することが非常に効果的だと考えます。部署を横断した関係づくりに努め、産官学民が連携した一体感のあるまちづくりを進めていただきたいと思います。



活動の醸成支援

積極的に地域に出向き、意欲ある人材の発掘を



令和6年度から、サポートセンターの市民活動に関する相談件数が減少していますが、協働のまちづくりの拠点として市民活動団体から信頼されていると感じています。

現在の課題は、市民活動団体の新たな活動の創出と次世代を担う人材育成だと考えられることから、積極的に地域に出向き、今まで市民活動に参加していなかった多様な世代や外国人住民にアウトリーチし、活動に意欲のある人材の発掘に努めてください。

地域に存在するさまざまな人たちを引き合わせるコーディネート力強化の一環として、担い手の発掘やリーダーの育成などの地域資源の掘り起こしに、重点的に取り組んでいただければと思います。

情報の提供・共有

他部署のSNSと相互連携し、積極的な情報発信を

本市で活動された事業者を紹介することも重要ですが、市民活動団体と事業が連携するイメージを持つために、本市以外の連携事例を紹介することで、事業者の地域活動を始めるきっかけにもなると考えます。「魅力発信の検討・創設」では、広報情報課で実施しているとみさとファンクラブの運営事業を高く評価しています。

既存の発信媒体のほか、他部署で実施しているSNSとの相互連携も進めていただき、サポートセンターのSNSについても、引き続き積極的な情報発信に努めていただくことを期待しています。



市の推進体制

地域活動のプレーヤーが多くいる場で円卓会議を開催し、さらなる活性化を



市民活動支援補助金の審査で応募団体がプレゼンテーションをする際、応募団体の事業に関連する部署の職員が内容を聞いていることは、大変評価されます。

誰もが自由に参加できる円卓会議は、重点テーマを決め、戦略的に関わる人に来ていただき、地域活動のプレーヤーが多くいる場で開催すると、さらなる活性化を促すことができると考えます。

職員研修は、職員の協働意識の醸成を目的に、若い世代への研修をはじめ、全庁体制で協働を推進するためにも、班長職、課長職、部長職に対する研修の検討をお願いします。